

# 四日市港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画の概要

## 四日市港CNP形成計画策定の目的

- 本計画は、四日市港の港湾区域及び臨港地区はもとより、四日市港を利用する荷主企業や港湾運送事業者、船会社など、民間企業等を含む港湾地域全体を対象とし、水素・燃料アンモニア等の受入環境の整備や、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化、集積する臨海部産業との連携等の具体的な取組について定め、四日市港におけるカーボンニュートラルポート（CNP）の形成の推進を図るもの

## 1 四日市港の特徴

## 2 四日市港CNP形成計画における基本的な事項

- 2-1 CNP 形成に向けた方針
  - (1) 水素・燃料アンモニア等のサプライチェーンの拠点としての受入環境の整備
  - (2) 港湾地域の面的・効率的な脱炭素化
- 2-2 計画期間、目標年次
  - 政府の温室効果ガス削減目標等を踏まえ、2030年度及び2050年に設定
- 2-3 対象範囲
  - 公共ターミナルにおける取組に加え、倉庫、発電所等の活動も含め、港湾地域全体を俯瞰して設定
- 2-4 計画策定及び推進体制、進捗管理
  - 今後、CNP 形成に向けた推進組織の会議等を定期的（年1回以上）に開催する
  - 計画の推進を図るとともに、計画の進捗状況を確認・評価する
  - 評価結果や、政府の温室効果ガス削減目標、脱炭素化に資する技術の進展等を踏まえて、適時適切に計画を見直す
  - 本計画は、令和4年12月に施行された「港湾法の一部を改正する法律」に基づき、四日市港管理組合において、関係者連携のもと作成する「港湾脱炭素化推進計画」に反映する

## 3 温室効果ガス排出量の推計

## 4 温室効果ガス削減目標及び削減計画

- 4-1 温室効果ガス削減目標
  - (1) 2030 年度における目標
    - 2013年度比42%削減、さらに高みの47%削減を目指す
  - (2) 2050 年における目標
    - カーボンニュートラルの実現
- 4-2 温室効果ガス削減計画
  - 上記目標を達成するために実施する取組内容を記載(火力発電所等における水素等混焼・専燃など)

【参考】三重県地球温暖化対策総合計画  
全 体：2013年度比 47%削減  
産業部門：2013年度比 42%削減

## 5 水素・燃料アンモニア等需要ポテンシャル推計及び供給計画

- (1) 需要ポテンシャル推計
  - 2021年度からのCO2削減量に対する化石燃料消費量もしくは電力消費量がすべて水素に置き換わると仮定し、同等の熱量を得るために必要となる水素の量を需要ポテンシャルとして推計  
2030年度：約90万トン、2050年：約255万トン
- (2) エネルギーキャリアの設定
  - 4つのシナリオを想定し、シナリオごとのキャリア需要量を推計  
①液化水素100%、②アンモニア100%、③MCH100%、④四日市港の特性に応じた配分
- (3) 水素・燃料アンモニア等に係る供給施設整備計画
  - 貯蔵施設について『カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画』策定マニュアル（初版）2021年12月国土交通省港湾局」に記載されている屋外貯蔵タンク例の諸元をもとに、タンク基数、必要用地面積を算出
- (4) 水素・燃料アンモニア等のサプライチェーンの強靱化に関する計画

## 6 港湾・産業立地競争力の向上に向けた方策

- 低炭素型・脱炭素型荷役機械の導入やモーダルシフトの推進などの取組
- 四日市コンビナートのカーボンニュートラル化に向けた新たな貨物の受入環境整備に向けた取組
- 臨海部における新たなアクセス道路整備に向けた取組
- これらの取組のために必要となる既存施設再編や新たな用地の確保に向けた取組 等

## 7 ロードマップ

- 水素・燃料アンモニア等のサプライチェーンの拠点としての受入環境の整備や港湾地域の面的・効率的な脱炭素化に係るロードマップを記載